

最新情報はこちらで見られます！

《復旧活動など各種状況》

- 東北地方整備局 <http://www.thr.mlit.go.jp/>
- 岩手県 <http://www.pref.iwate.jp/>
- 宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/>
- 秋田県 <http://www.pref.akita.lg.jp/>

《交通》

- 岩手県道路情報提供サービス <http://www.douro.com/>
- 宮城県道路課 <http://www.pref.miyagi.jp/road>
- あきたのみち情報 <http://road.pref.akita.lg.jp/modules/tinyd0/>

《観光》

- 岩手県観光ポータルサイト <http://www.iwatetabi.jp/>
- いちのせき観光ガイド <http://ichinoseki-kankou.jp/>
- 宮城まるごと探訪 <http://www.miyagi-kankou.or.jp/>
- あきたファンドットコム <http://www.akitafan.com/>

《地域別情報》

- 奥州市 <http://www.city.oshu.iwate.jp/>
- 一関市 <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/>
- 栗原市 <http://www.kuriharacity.jp/>

問い合わせ先  
国土交通省 東北地方整備局  
企画部 防災課  
TEL 022(225)2171

# 平成20年 岩手・宮城内陸地震

【平成20年6月14日 8時43分発生 震度6強】



▲(市)荒砥沢線 宮城県栗原市

平成20年7月1日作成



国土交通省 東北地方整備局



▲国道398号 宮城県栗原市



▲国道398号 宮城県栗原市



▲岩手県一関市 市野々原地先



▲宮城県栗原市 浅布地先



▲(市)馬場駒の湯線 宮城県栗原市



▲(市)馬場駒の湯線 宮城県栗原市



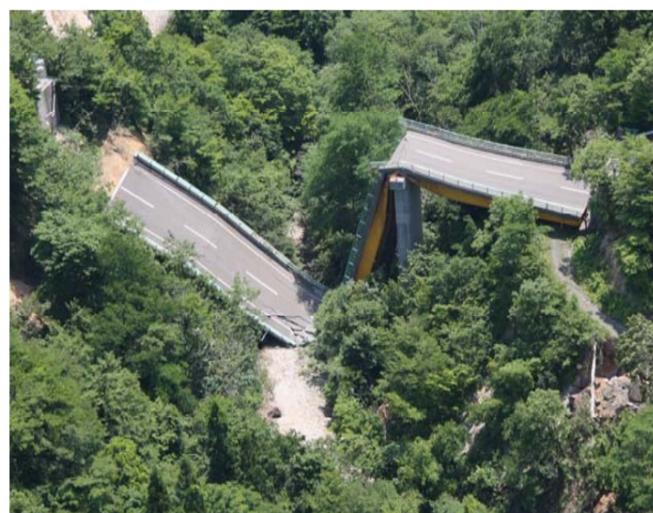
▲宮城県栗原市 小川原地先



▲宮城県栗原市 小川原地先



▲(主)築館栗駒公園線 宮城県栗原市 \*



▲国道342号 岩手県一関市 \*



▲国道342号 岩手県一関市



▲国道342号 岩手県一関市



▲国道342号 岩手県一関市



▲国道342号 岩手県一関市



▲荒砥沢ダム上流 宮城県栗原市 \*



▲(市)荒砥沢線 宮城県栗原市 \*



▲国道342号 岩手県一関市



▲国道342号 岩手県一関市



▲駒の湯温泉上流部 宮城県栗原市



▲駒の湯温泉上流部 宮城県栗原市



▲ 湯ノ倉温泉 宮城県栗原市  
6月16日撮影



▲ 湯ノ倉温泉 宮城県栗原市  
6月24日撮影



▲駒の湯温泉周辺 宮城県栗原市 \*



▲駒の湯温泉 宮城県栗原市 \*

\* 印し写真は(社)東北建設協会提供

# 地震の概要(岩手・宮城内陸地震)

【発生日時】 6月14日8時43分

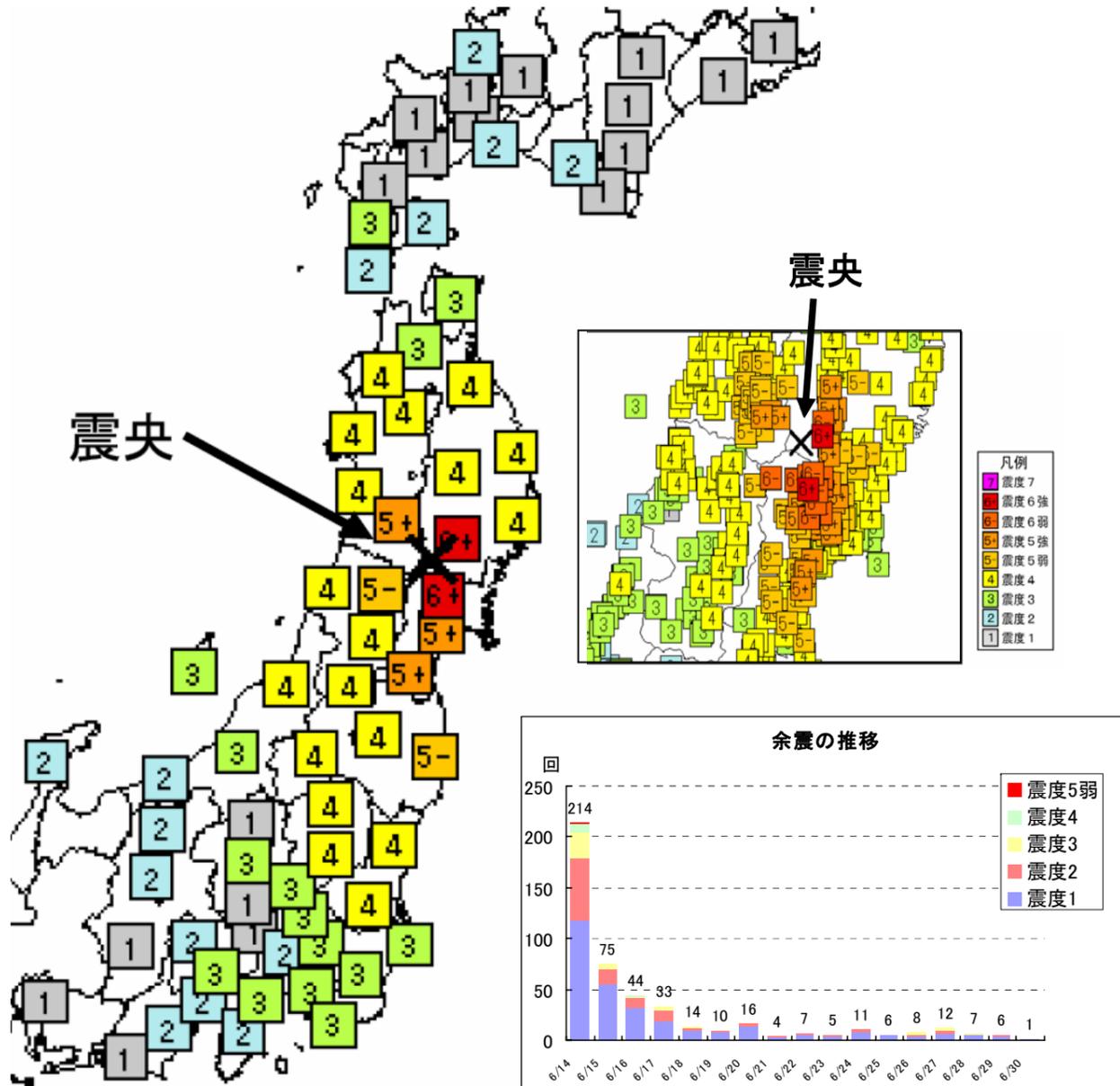
【場 所】 北緯39度01.7分 東経140度52.8分

(岩手県内陸南部の深さ8km)

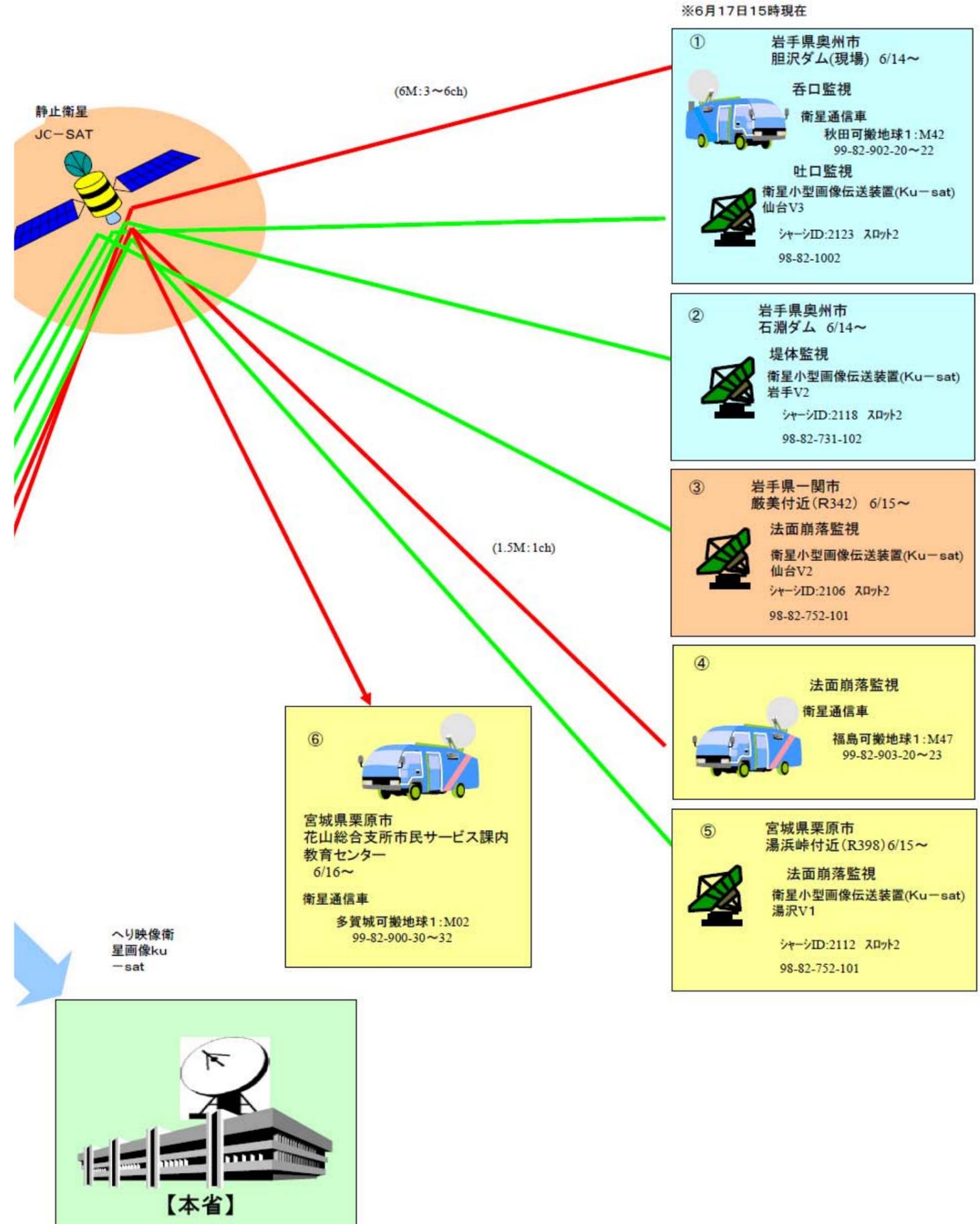
【規 模】 M7.2(暫定値)

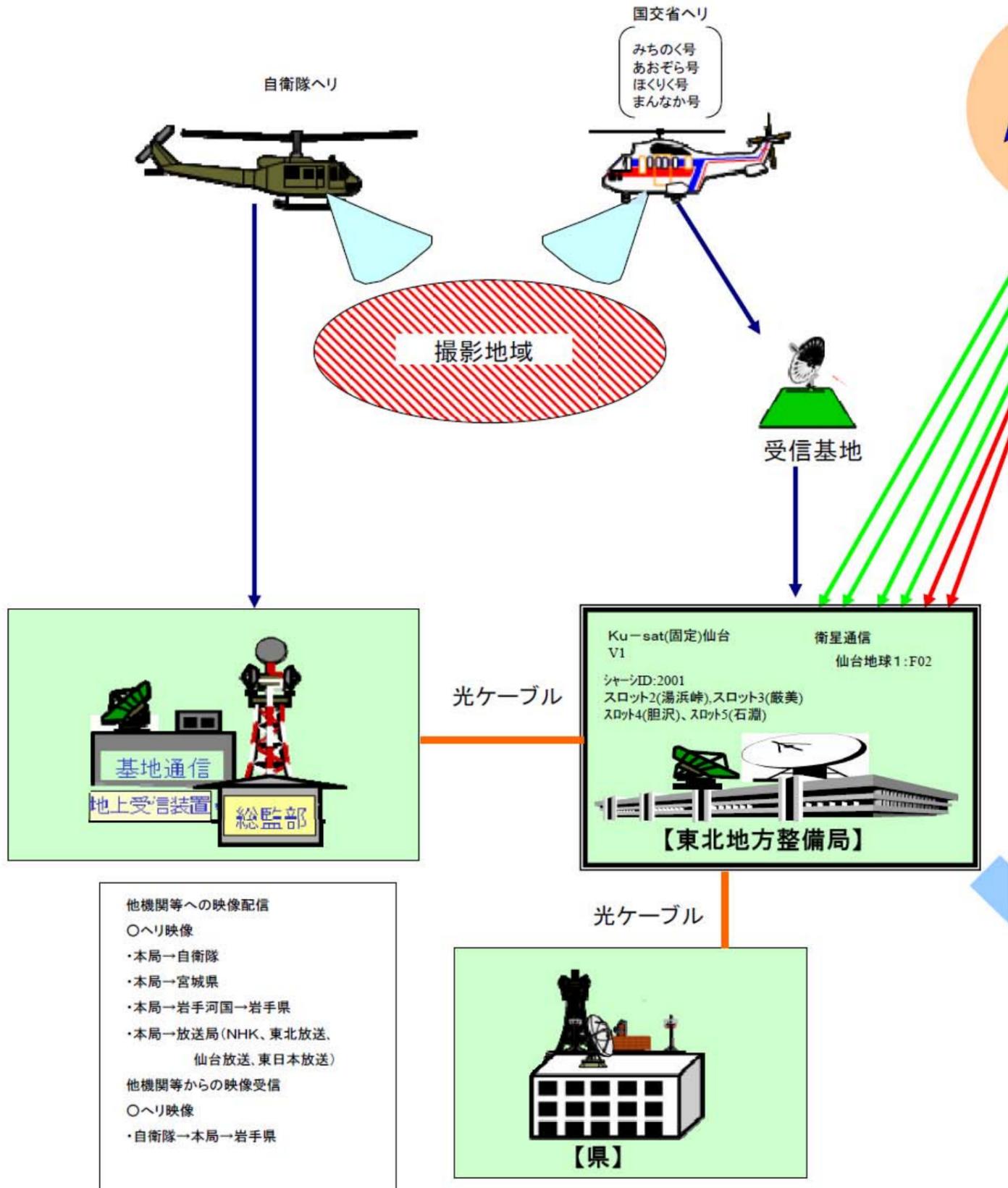
【震 度】 6強(岩手県奥州市、宮城県栗原市)  
 6弱(宮城県大崎市)  
 5強(岩手県北上市、一関市、宮城県仙台市、名取市、登米市、  
 秋田県湯沢市 等)

【発震機構】 西北西－東南東に圧力軸を持つ逆断層型



# ネットワーク





## ◆人的及び住家被害の状況

都道府県名	人的被害					住家被害			火災		
	死者	行方不明	重軽傷	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部損壊	建物	危険物	その他
				人	人						
岩手県	2		37	9	28	1	3	358	2		
宮城県	9	8	372	52	320	6	5	328	1		
秋田県		2	21	5	16		1	7	1		
山形県			1	1							
福島県	1		2	1	1						
計	12	10	433	68	365	7	9	694	4	0	0

消防庁災害対策本部発表 平成20年6月30日 17:00現在

## ◆避難の状況

(単位:人)

都道府県名	避難人数
岩手県	48
宮城県	170
計	218

消防庁災害対策本部発表  
平成20年6月30日 17:00現在



▲避難所の様子

## ◆ライフライン

(単位:戸)

都道府県名	停電	断水	計
岩手県	0	326	326
宮城県	211	233	444
計	211	559	770

岩手県発表6月26日 16:00現在  
宮城県発表6月29日 16:00現在

## ◆被害額

(単位:百万円)

都道府県名	土木施設被害	農林水産関係被害	経済商工観光関係	その他	合計	発表日時
岩手県	16,876	9,969	1,079	1,065	28,989	6月30日14:00
宮城県	52,500	58,438	5,832	831	117,601	6月29日16:00
秋田県	2,840	127	-	-	2,967	6月30日13:00
計	72,216	68,534	6,911	1,896	149,557	

※継続調査中

# 地震発生 配備状況

6/14(土)

8:43	・岩手県内陸南部において地震発生(M7.2) ・本部・7支部が非常体制、2支部が警戒体制、9支部が注意体制をそれぞれ発令
8:45	・直轄国道の巡視点検開始
8:50	・官邸対策室設置
9:00	・直轄河川の巡視点検開始
10:00	・防災ヘリコプター(みちのく号)飛行開始 ・災害対策現地情報連絡員(リエゾン)を宮城県・岩手県へ派遣
10:20	・国土交通省非常災害対策本部設置
10:26	・防災ヘリコプター(ほくりく号)飛行開始
10:30	・国土交通省情報連絡会議開催
11:10	・気象庁が「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」と命名
11:30	・宮城県栗原市へ政府調査団(団長:防災担当大臣)を現地へ派遣(国土交通省より松島副大臣派遣)
12:00	・災害対策用資機材派遣要請
12:40	・防災ヘリコプター(あおぞら号)飛行開始
13:20	・緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)先遣班として調査開始(ヘリ調査)(派遣元:北陸地整)
14:00	・変状が確認された石淵ダムにおいて、点検のため利水者の合意を得て、放流開始
16:00	・胆沢ダム電源復旧
18:05	・胆沢ダム排水路トンネル土砂崩落による閉塞箇所監視を開始
20:00	・石淵ダムにおいてKu-satによる本局へ映像送信開始



▲国交省防災ヘリによる調査



▲TEC-FORCE先遣隊による調査



▲現地本部で説明を受ける大臣

6/15(日)

7:00	・(独)土木研究所・国土技術政策研究所による現地調査開始(石淵ダム)
9:00	・国土交通大臣現地視察へ出発(~17:15、17:35総理報告)
10:00	・TEC-FORCE(土砂災害対策緊急支援チーム)が現地本部(一関出張所)へ参集
11:00	・栗駒山周辺において11箇所の河道閉塞を確認
11:45	・冬柴国土交通大臣 現地本部にて現地激励

6/16(月)

0:45	・栗原市花山村被災者避難所にてR398花山ダム災害復旧状況の映像提供開始
7:00	・TEC-FORCE(道路調査班)17班62名(被災建築物調査班)1班4名 東北地整出発
11:00	・平井国土交通副大臣 東北地整にて激励 ・遠隔式バックホウ稼働開始(栗原市花山地区)
19:25	・石淵ダム電源復旧

6/17(火)

	・河道閉塞箇所における直轄砂防災害関連緊急事業実施
	・石淵ダムにおいて光ケーブル仮設開始(6/18AM仮復旧)

TEC-FORCE派遣  
(本省、東北、関東、北陸、中部地整、北海道開発局)  
一関市、栗原市

胆沢ダム  
衛星通信車 1台(稼働中)  
照明車2台(稼働中)  
橋梁点検車1台  
Ku-sat1台

国道342号  
祭時(まつるべ)大橋(落橋)調査(15日 6人)  
本省、国総研、土研

一関出張所にて待機  
照明車7台(関東地整)  
照明車4台(北陸地整)  
遠隔式バックホウ2台(北陸地整)  
橋梁点検車1台  
排水ポンプユニット3台

国道342号  
一関市白崖  
照明車1台  
Ku-sat1台

国道398号  
栗原市花山(花山石楠花センター)  
衛星通信車1台

道の駅「はなやま」  
待機支援車 1台  
照明車 1台

# 災害支援車両 後の動き

災害対策現地情報連絡員派遣(リエゾン)

宮城県庁、岩手県庁、栗原市、一関市、奥州市(14日~)

現地調査隊(災害発生状況等確認) 派遣  
東北地整(15日 3班13名)

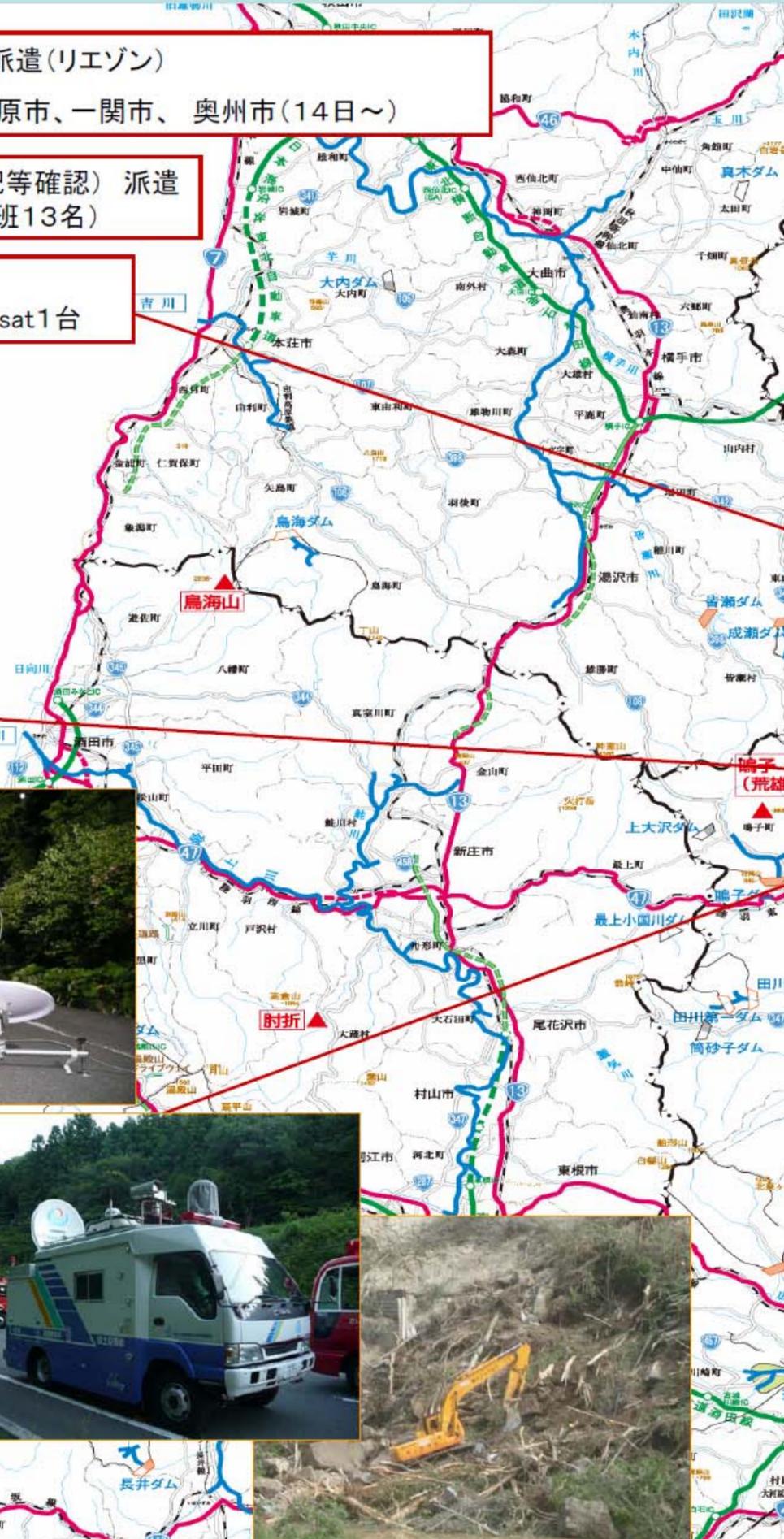
石淵ダム  
照明車1台(稼働中) Ku-sat1台



国道398号  
栗原市湯浜  
照明車1台  
Ku-sat1台



国道398号  
栗原市花山  
衛星通信車1台  
照明車1台  
遠隔式バックホウ  
(北陸地整)1台  
遠隔式バックホウ  
(関東地整)1台



6/18(水)

7:00	・TEC-FORCE(橋梁点検)東北地整出発
11:00	・R342祭時大橋緊急調査結果を岩手県へ報告
13:00	・TEC-FORCE(道路調査班)3班15名 東北地整出発(R342被災状況調査)

6/19(木)

9:30	・災害対策現地情報連絡員(リエゾン)を栗原市へ派遣
13:25	・磐井川の市野々原地区において排水ポンプ(1台)により排水を開始(河道閉塞対策)
15:00	・栗原市災害対策本部へ土砂災害対策の専門家(湯沢河川国道事務所 副所長)を派遣
15:00	・TEC-FORCE 橋梁技術専門家2名を現地に派遣

6/20(金)

12:00	・栗原市役所内に東北地方整備局の現地対策本部を設置
-------	---------------------------

6/21(土)

	・直轄砂防災害関連緊急事業 新たに3箇所実施(産女地区、温湯地区、栗駒沼倉地区)
12:30	・市野々原地区(磐井川) 仮排水路の通水開始

6/22(日)

	・砂防学会 東北地方整備局と共同で現地調査を実施
--	--------------------------

6/23(月)

19:00	・栗原市へ河道閉塞等に関する地元説明を実施
-------	-----------------------

6/24(火)

	・直轄砂防災害関連緊急事業 新たに1箇所実施(湯ノ倉温泉地区)
--	---------------------------------

6/25(水)

12:20	・浅布地区(迫川) 仮排水路の通水開始
	・直轄砂防災害関連緊急事業推進に向け、職員(河川・ダム事務所等)を現地対策本部等へ順次派遣

6/26(木)

15:00	・24日採択した湯ノ倉温泉地区の直轄砂防災害関連緊急事業の対策工法をマスコミへ説明 ・小川原地区(迫川) ポンプ排水による仮排水路への通水開始
-------	--

6/27(金)

11:30	・金子政務官・山本政務官 東北地整にて激励
19:30	・小川原地区(迫川) 仮排水路への自然通水開始

6/28(土)

	・井上衆議院議員、市川参議院議員が現地対策本部にて激励 ・湯ノ倉温泉地区(迫川) 工事用道路造成用重機のヘリによる搬入実施
--	--

6/29(日)

	・温湯地区(迫川) 工事用道路造成に着手 ・被災後、被災地に初めてまとまった雨。 ・国総研小山内砂防研究室長等3名が河道閉塞箇所を現地視察
--	---

6/30(月)

14:40	・冬柴大臣が現地視察。一時避難所を慰問。
-------	----------------------



▲TEC-FORCEの出発式



▲平井国土交通副大臣の災害対策本部への激励



▲一関市・市野々原地区(排水対策作業状況)



▲一時避難所を慰問する大臣

# 河川関係

# 応急危険度判定)現地調査状況

## 【国管理河川】

都道府県	水系	河川	市町村	地点		被害状況	
				左右岸	KP	状態	数量
宮城県	鳴瀬川	鳴瀬川	大崎市	左岸	13.5k~15.7k	堤防天端舗装・クラック	(3箇所)
岩手県	北上川	砂鉄川	一関市	左岸	0.4k	樋門・目地開口、クラック	
岩手県	北上川	砂鉄川	一関市	左岸	0.8k	樋門・目地開口	
岩手県	北上川	砂鉄川	一関市	右岸	4.2k	樋門・目地開口	
岩手県	北上川	砂鉄川	一関市	右岸	5.6k	樋門・目地開口	

## 【補助河川】

県名	水系	河川	市町村	地点	被害状況
岩手県	北上川	磐井川	一関市	厳美町小河原地区	河道閉塞
岩手県	北上川	磐井川	一関市	厳美町市野々原地区	河道閉塞【対策着手】
岩手県	北上川	磐井川	一関市	厳美町槻木平地区	河道閉塞
岩手県	北上川	磐井川	一関市	厳美町須川地区	河道閉塞
岩手県	北上川	磐井川	一関市	厳美町産女川地区	河道閉塞
宮城県	北上川	迫川	栗原市	坂下地区	河道閉塞
宮城県	北上川	迫川	栗原市	浅布地区	河道閉塞【対策着手】
宮城県	北上川	迫川	栗原市	小川原地区	河道閉塞【対策着手】
宮城県	北上川	迫川	栗原市	温湯地区	河道閉塞
宮城県	北上川	迫川	栗原市	湯ノ倉温泉地区	河道閉塞
宮城県	北上川	迫川	栗原市	迫川上流地区	河道閉塞
宮城県	北上川	迫川	栗原市	川原小屋沢地区	河道閉塞
宮城県	北上川	二迫川	栗原市	荒砥沢地区	河道閉塞
宮城県	北上川	三迫川	栗原市	栗駒沼倉地区	河道閉塞
宮城県	北上川	三迫川	栗原市	沼倉裏沢地区	河道閉塞
宮城県	北上川	迫川	栗原市	伊豆野頭首工上流	斜面崩壊【応急対策完了】
宮城県	北上川	二迫川	栗原市	荒砥沢ダム下流2km地点	斜面崩壊(対策検討中)
宮城県	北上川	二迫川	栗原市	荒砥沢ダム下流4km地点	斜面崩壊【応急対策完了】
宮城県	北上川	三迫川	栗原市	栗駒ダム栗駒発電所下流	斜面崩壊(対策検討中)
宮城県	北上川	江合川	大崎市	岩出山一本杉地区	堤防天端クラック (小規模のため対策はしない予定)
宮城県	北上川	小山田川	大崎市	岩出山菅生地区	河岸クラック【応急対策完了】

## 【直轄ダム施設】

ダム名	被害箇所	被害状況	その他
石淵ダム	堤体	天端にうねり及びクラック発生	天端シート張り実施
	下流右岸	土砂崩れ発生	河道閉塞の恐れなし
	管理設備	光ファイバーの切断 商用電力切断	復旧済 復旧済
胆沢ダム	国道397号	土砂崩れ発生により通行止め	下段排水路トンネル呑口については、土砂を除去済み
	下段排水路トンネル呑口	土砂崩落により閉塞	衛星通信車1台、衛星通信装置2台、照明車3台を現地配備



## ＜被災建築物応急危険度判定支援＞

派遣日：6月16日～6月17日

活動メンバー：建政部2名、営繕部6名



建物傾き調査



判定結果貼付



ブロック塀損傷調査



山間部の住居を訪問

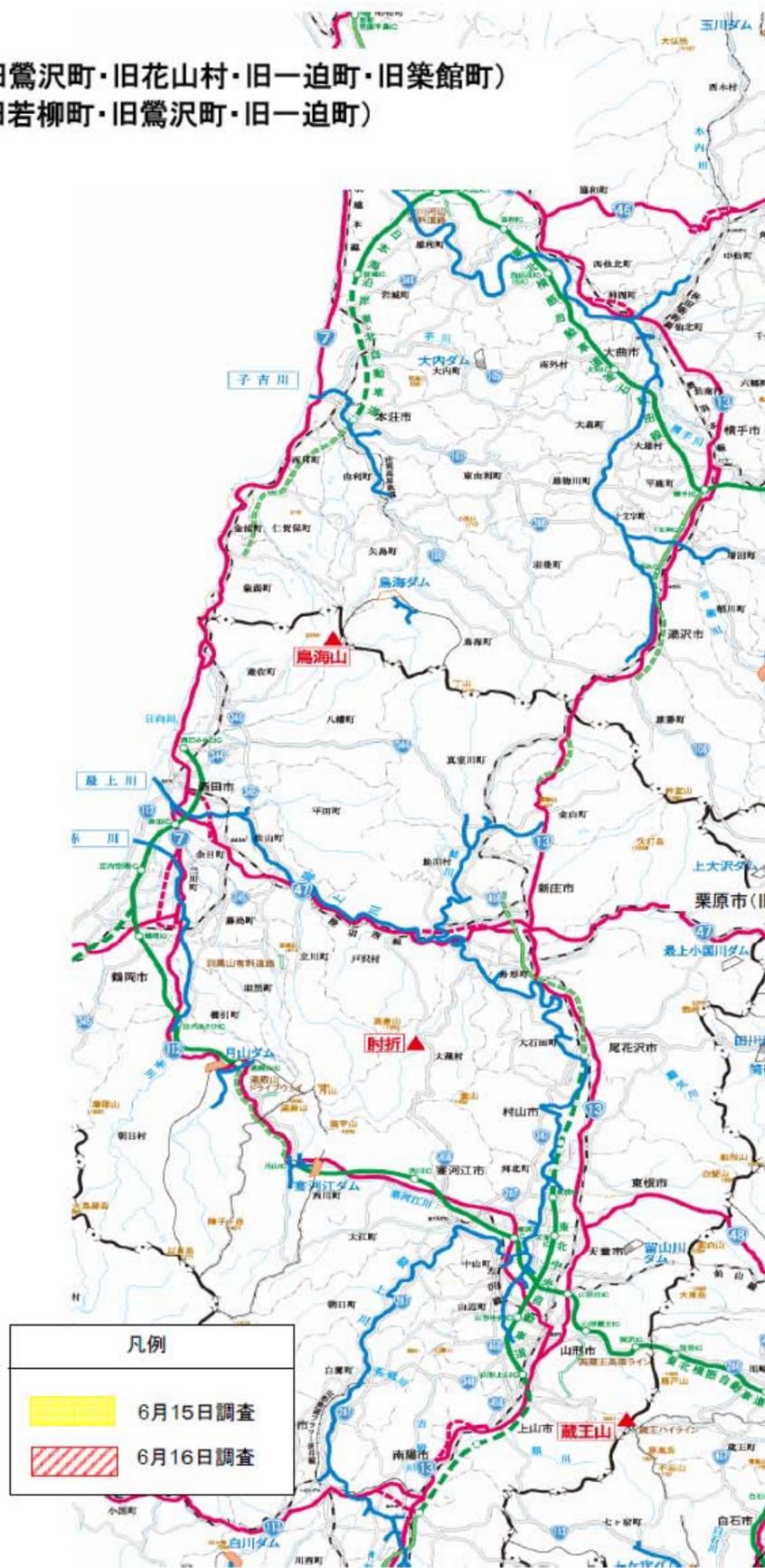
# TEC-FORCE(下水道・被災建物)

# 被害一覧表

## <下水道>

活動日・調査箇所： 6月15日 栗原市(旧鶯沢町・旧花山村・旧一迫町・旧築館町)  
6月16日 栗原市(旧若柳町・旧鶯沢町・旧一迫町)

活動メンバー： 国総研 3名



## 【補助ダム】

都道府県	水系	被害箇所	被害状況	その他
宮城県	荒砥沢ダム	二迫川	大規模地すべり発生	専門家による調査済み
宮城県	小田ダム	堤体	漏水量増加	専門家による調査済み
宮城県	上大沢ダム	堤体	天端にクラック発生	専門家による調査済み
秋田県	皆瀬ダム	堤体	天端の沈下及びクラック発生	専門家による調査済み

## 【補助砂防等】

県名	水系	河川	市町村	地点	被害状況
岩手県	北上川	磐井川	一関市	巖美町矢櫃ダム	河道閉塞
岩手県	北上川	有浦沢川	奥州市	衣川区大字有浦	河道閉塞【応急対策完了】
岩手県	北上川	尿前川	奥州市	胆沢区若柳字蜂谷	山腹崩壊
岩手県	北上川		奥州市	衣川区大平	がけ崩れ【応急対策完了】
岩手県	北上川		奥州市	衣川区石生	がけ崩れ【応急対策完了】
岩手県	北上川		奥州市	衣川区中山	がけ崩れ
岩手県	北上川	磐井川	一関市	須川地区	河道閉塞
岩手県	北上川		一関市	巖美町柵木立	がけ崩れ
岩手県	北上川		一関市	柵倉地区	隣接林道にクラック
岩手県	北上川		一関市	板川地区	地すべり
岩手県	北上川	北股沢	奥州市	衣川区増沢	山腹崩壊
宮城県	北上川		栗原市	栗駒 駒ノ湯地区	土石流
宮城県	北上川		栗原市	花山地区(金沢)	土石流
宮城県	北上川		栗原市	栗駒 放森地区	土石流
宮城県	北上川		大崎市	鳴子温泉地区(上岩入沢)	土石流
宮城県	北上川		大崎市	鳴子温泉地区(岩入沢(2))	土石流
宮城県	北上川		栗原市	栗駒 荒砥沢地区	地すべり
宮城県	北上川		栗原市	栗駒地区(日陰森)	地すべり
宮城県	北上川		大崎市	鳴子温泉半俵山	地すべり
宮城県	北上川		大崎市	鳴子温泉川渡字町下	がけ崩れ
宮城県	北上川		大崎市	鳴子温泉黒崎	がけ崩れ
宮城県	北上川		栗原市	金成(上吉目木)	がけ崩れ
宮城県	北上川		栗原市	金成(日向田の2)	がけ崩れ
宮城県	北上川		栗原市	花山(金沢)	がけ崩れ
宮城県	北上川		大崎市	鳴子温泉(新屋敷の6)	がけ崩れ
宮城県	北上川		大崎市	鳴子温泉(岩入)	がけ崩れ



**◇調査結果（概要）**

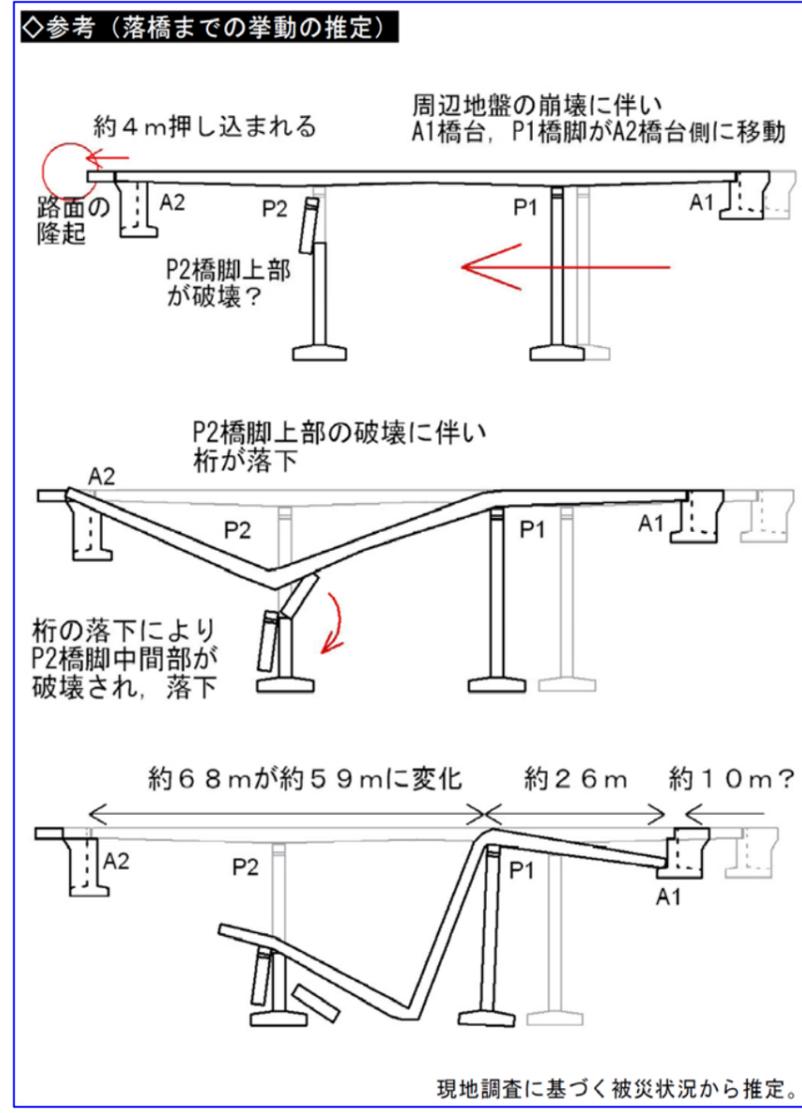
- ・本橋近隣の秋田県側では大規模な斜面崩壊等の地山の顕著な変状が多数みられる。
- ・A1（秋田側橋台）の後方路面は激しく破壊されており、周辺にも地割れが生じている。
- ・A1（秋田側）橋台は前方に向けて大きく変位している可能性がある。（現地での簡易計測結果等からの推定）。また、躯体側面に大きなひび割れが確認できる。
- ・P1（秋田側）橋脚は、A1橋台と同様に前方に向けて変位が発生している可能性がある。橋脚はA1橋台側にやや傾斜している。また、柱の一部に軽微なひび割れが確認できる。
- ・P2（一関側）橋脚は、橋脚上部、中間部、下部と3つに分断されていることを確認。橋脚上部は橋脚下部のA2（一関側）橋台直近に落下した状態、中間部は上側をP1橋脚側にして横倒しの状態、下部はもとのフーチング上にある状態であることを確認しており、中間部2カ所で分断されたものと推察。
- ・A2橋台は、バラベットと橋台躯体部の間に大きな離れ（約4m）を確認。橋台背面路面は大きく盛り上がりが見える状況（バラベットに押されて踏みかけ版とともに後方に押された可能性がある。）
- ・A2橋台の前面には、桁との衝突痕が確認できる。一方、桁端部にはコンクリートとの衝突痕がみられる。
- ・橋桁は支承が破壊し、両端ともに橋台からはずれている状況。A2橋台側の橋桁はP2橋脚付近に落下し、A1橋台側の橋桁はP1橋脚上で折れ曲がるように大きく変形。

・変位量等については詳細な測量が必要だが、簡易的な測量結果（1m程度の誤差あり）によれば、以下の通りである。

- A1橋台とA2橋台の間は、地震前に約9.5mであったのが約8.5mに約1.0m短縮。
- A1橋台とP1橋脚の間は約2.7mであったのが約2.6mに短縮。
- P1橋脚とA2橋台の間が地震前に約6.8mであったのが約5.9mに短縮。

**◇所見**

- ・本橋梁の橋台周囲各所で地山崩壊が生じており、橋梁を支える橋台や橋脚が地盤とともに移動した可能性が高い。
- ・特に、A1橋台の後方（背面）での大きな地盤の割れ状況から、A1橋台とP1橋脚がともに前方に移動して橋桁をA2橋台の方へ押し出したことで、P2橋脚とA2橋台の大きな破壊と上部構造の落下につながった可能性が考えられる。
- ・損傷（落橋）メカニズムの解明には、詳細な測量、損傷範囲や状況の詳細な調査が必要である。



◆平成20年6月18日(水)11:00～ 岩手県庁 12階講堂において、調査結果の報告会を開催



▲報告会開催状況

国土交通省  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平成20年6月18日  
国土交通省緊急災害対策派遣隊  
(TEC-FORCE)

## 国道342号・祭時(まつるべ)大橋 調査報告

### ◇目的

国道342号・祭時(まつるべ)大橋は、2008(平成20)年6月14日午前8時43分頃に発生した「岩手・宮城内陸地震」によって、落橋した。国土交通省では、橋梁工学の専門技術者等で編成した国土交通省緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を現場に派遣し、被災状況調査等を実施し、道路管理者である岩手県に報告するものである。

### ◇調査団の構成

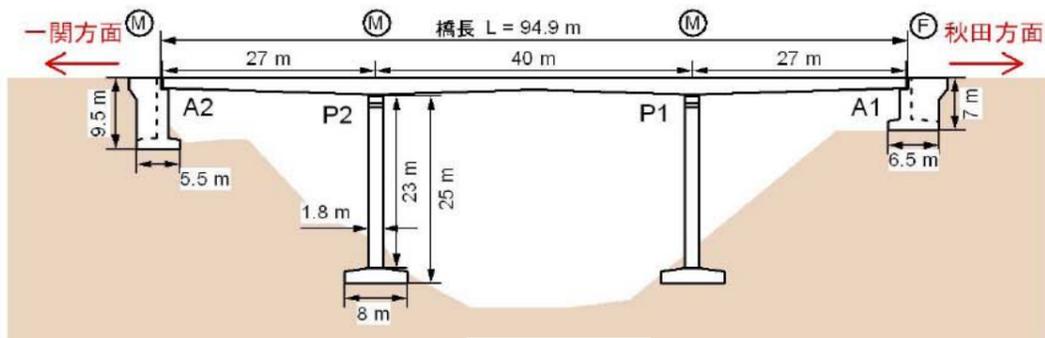
富樫 篤英	国土交通省道路局地方道・環境課交通安全対策室企画専門官
玉越 隆史	国土技術政策総合研究所道路研究部道路構造物管理研究室長
生田 浩一	同上 道路構造物管理研究室研究官
運上 茂樹	(独)土木研究所構造物メンテナンスセンター 橋梁構造研究グループ 上席研究員
堺 淳一	同上 橋梁構造研究グループ 主任研究員

### ◇祭時(まつるべ)大橋の概要

橋 長：94.9m  
幅 員：9.0m  
上部工形式：3径間連続非合成钣桁橋  
架設年次：1978(昭和53)年  
管 理 者：岩手県



▲取材を受ける玉越室長

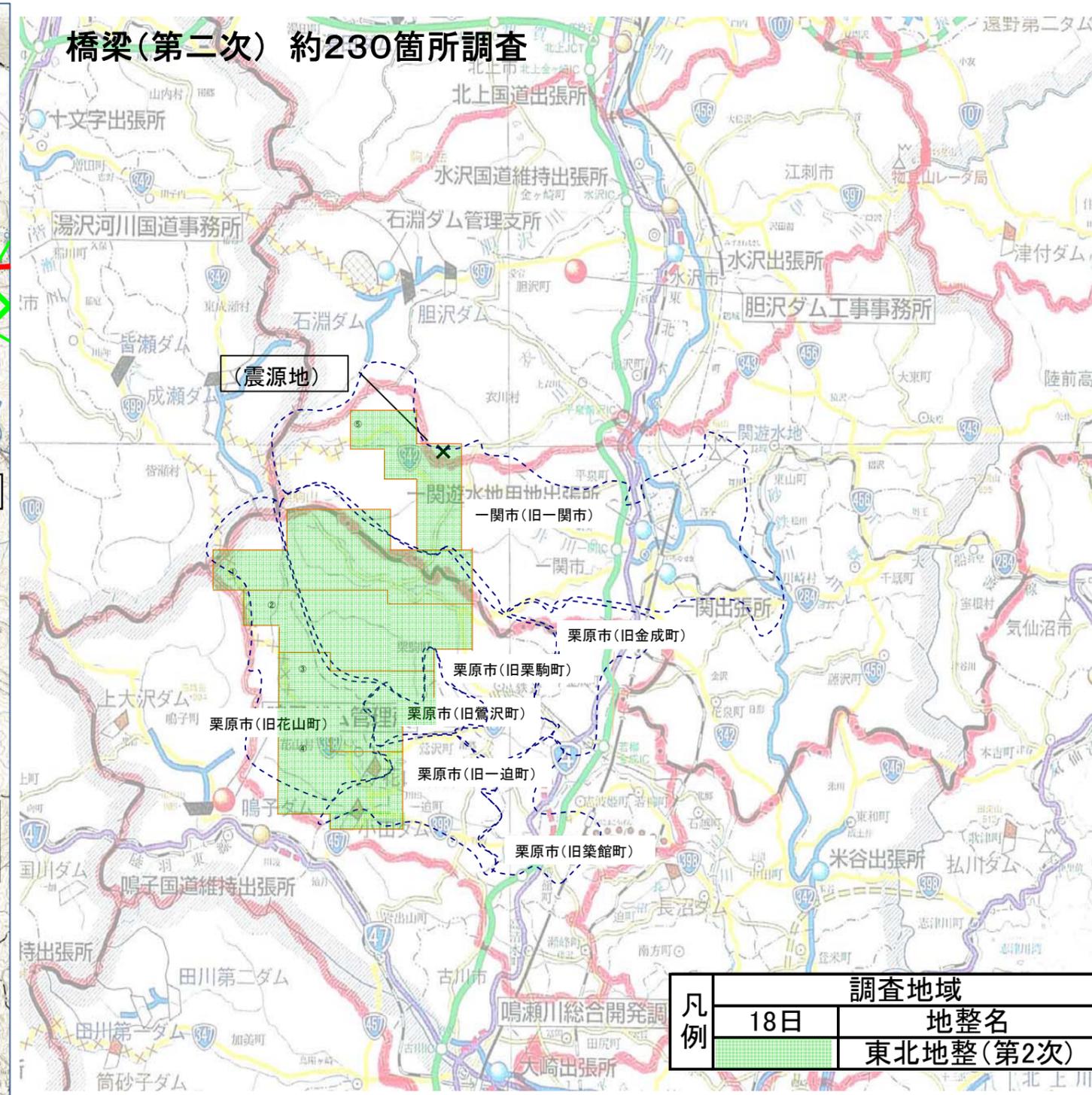


### 凡例

× :河道閉塞(天然ダム)確認箇所  
注 緑書は河道閉塞(天然ダム)の内  
直轄砂防災害関連 緊急事業箇所



# 宮城県内(迫川、二迫川、三迫川) 橋梁)現地作業状況

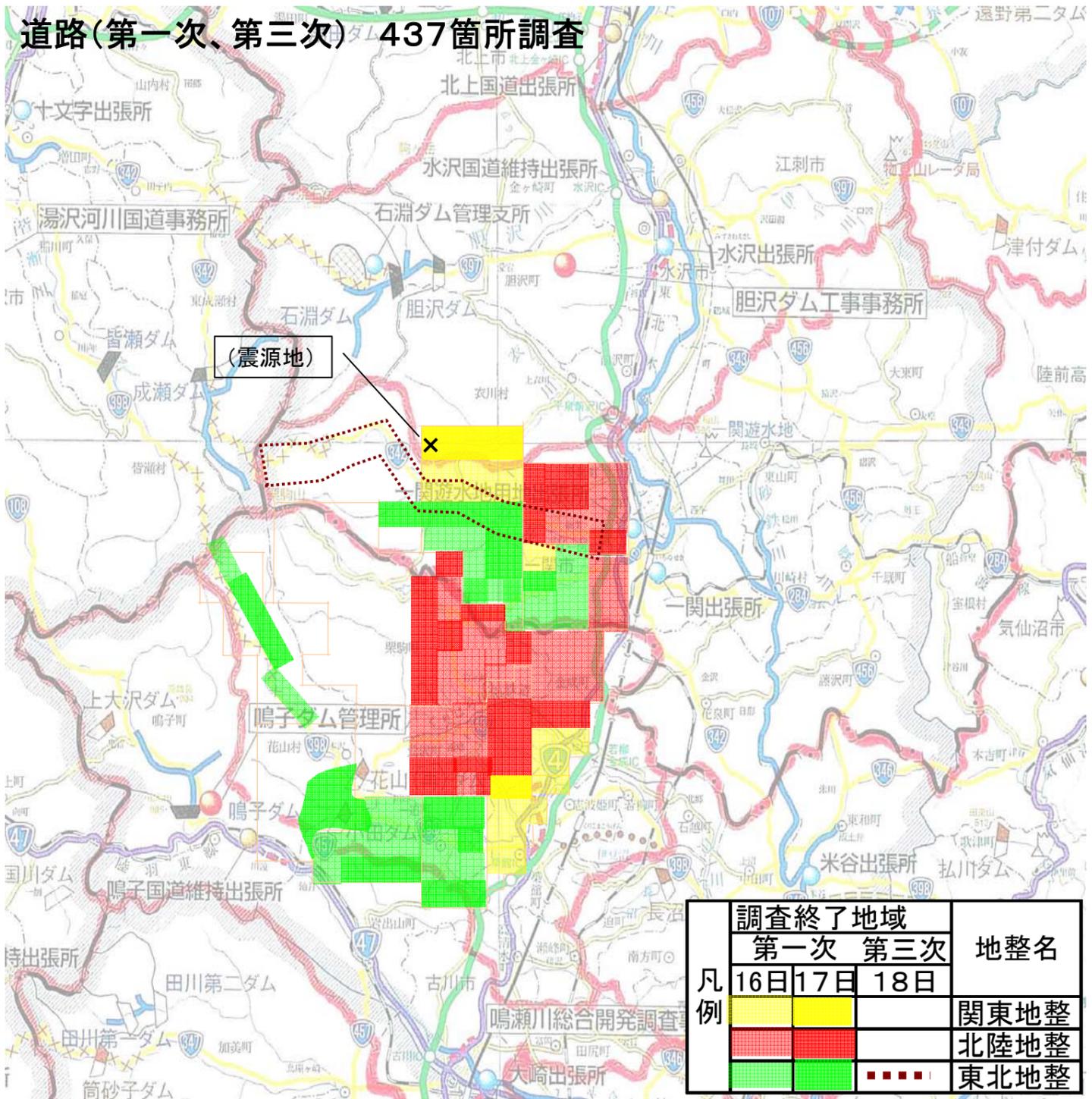


国道342号 岩手県一関市



国道342号 岩手県一関市(祭時大橋)

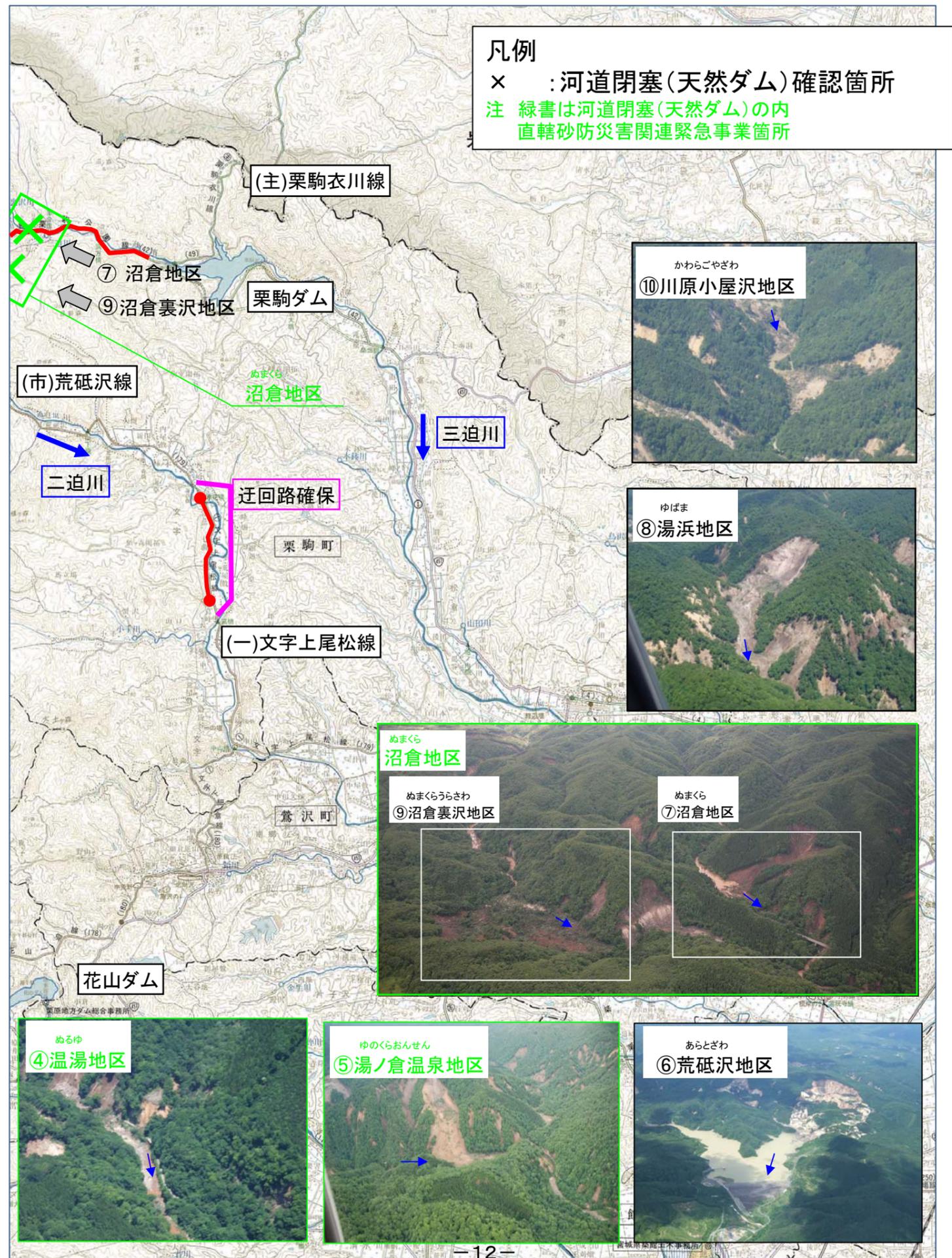
# TEC-FORCE(道路・河道閉塞(天然ダム)位置図



国道398号 宮城県栗原市花山



国道398号 宮城県栗原市花山





# TEC-FORCE(土砂災害)

# 岩手県一関市市野々原地先 いちののぼら

河川名 : 北上川水系 磐井川

地先名 : 岩手県一関市市野々原地先

作業状況: 仮排水路L=120m通水(21日)  
仮排水路断面拡大工事中



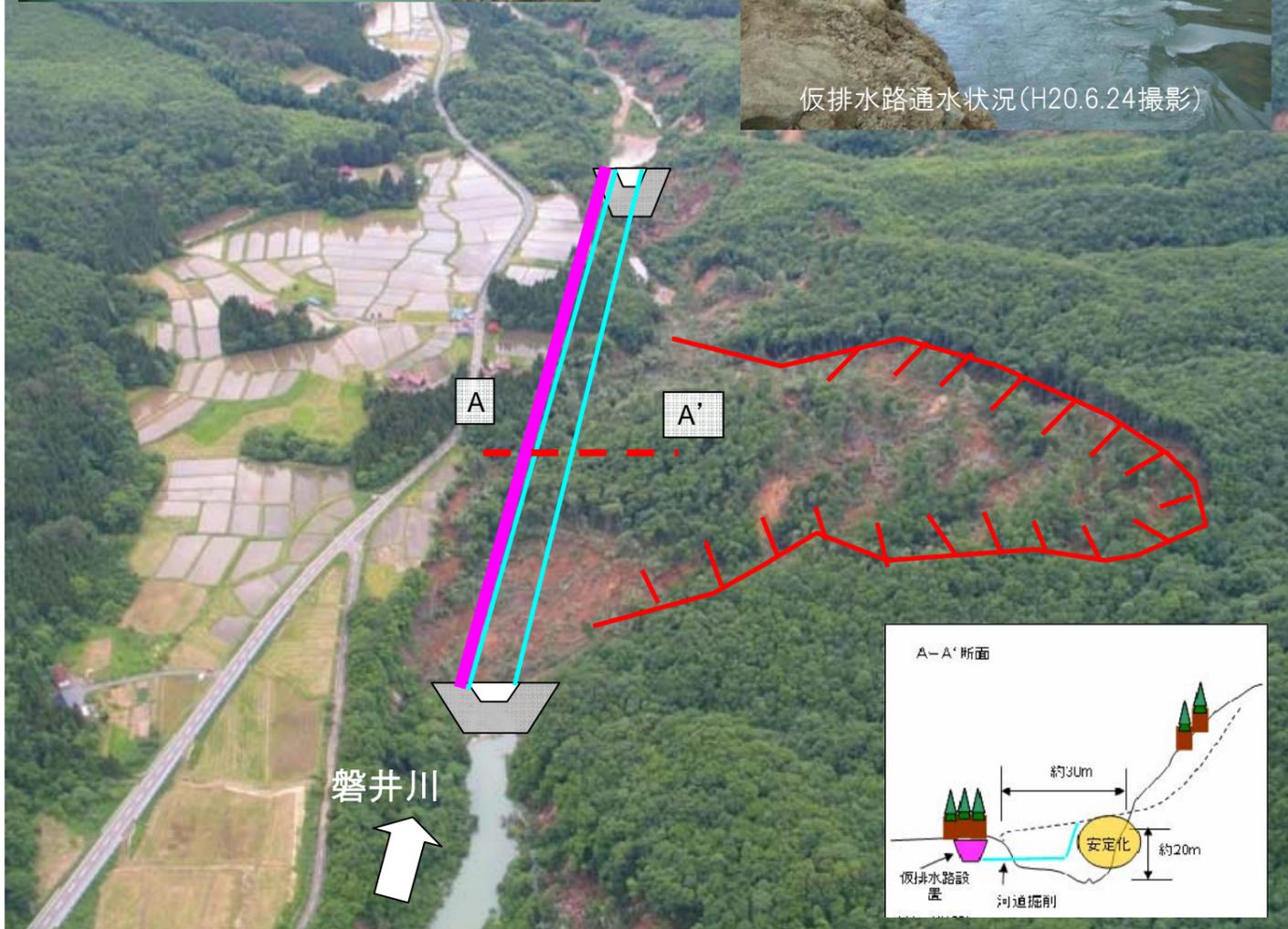
点検で危険度Aと判定された箇所  
(宮城県旧栗駒町)



点検で危険度Aと判定された箇所  
(宮城県旧鳴子町)



土石流危険溪流の点検状況  
(岩手県旧平泉町)





## ○国土交通本省及び地方整備局等の派遣状況(7月1日9時現在)

	先遣班				被災調査班								航空 現地 班数	
	へり調査		緊急調査団		現地 支援班		土砂 危険箇所		へり調査		道路			
	班数	人数	班数	人数	班数	人数	班数	人数	班数	人数	班数	人数		
本省			1	25			1	3						
北海道開発局							1	4	1	※②				
東北地方整備局	1	5					5	24	1	※②	14	52		
関東地方整備局	1	5					3	13	1	※②	4	20		
北陸地方整備局	1	4			2	11	5	27	1	※②	6	30		
中部地方整備局							4	16	1	※②				
中国地方整備局														
気象庁														
東北運輸局														
国土地理院														8
合計	3	14	1	25	2	11	19	87	5	※②	24	102		8

※①その他:地震機動観測班、輸送支援班、地理情報支援班、気象・地象情報提供班  
 ※②:土砂危険箇所調査と兼務

## ○活動状況(7月1日9時現在)

班名	目的	14日(土)	15日(日)	16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)	21日(土)	22日(日)	23日(月)	24日(火)
先遣班												
へり調査	航空調査											
緊急調査団	震度が大きい地区の重点調査											
被災調査班												
現地支援班												
土砂災害危険箇所	土砂災害危険箇所調査											
へり調査※③	航空調査											
道路												
第一次	市道の被災状況調査											
第二次	橋梁の被災状況調査											
第三次	国道342号の重点調査											
航空写真・現地調査												
被害建築調査	被災建築物の重点調査											
応急対策班	災害対策車等による活動											
高度技術指導	河道閉塞対策等の指導											
	災害復旧工法の指導											
	国道342号の工事用仮設橋指導											
情報通信班	通信機器・車両等の配備											
現地調査班												
その他												

※③先遣班 へり調査と兼務

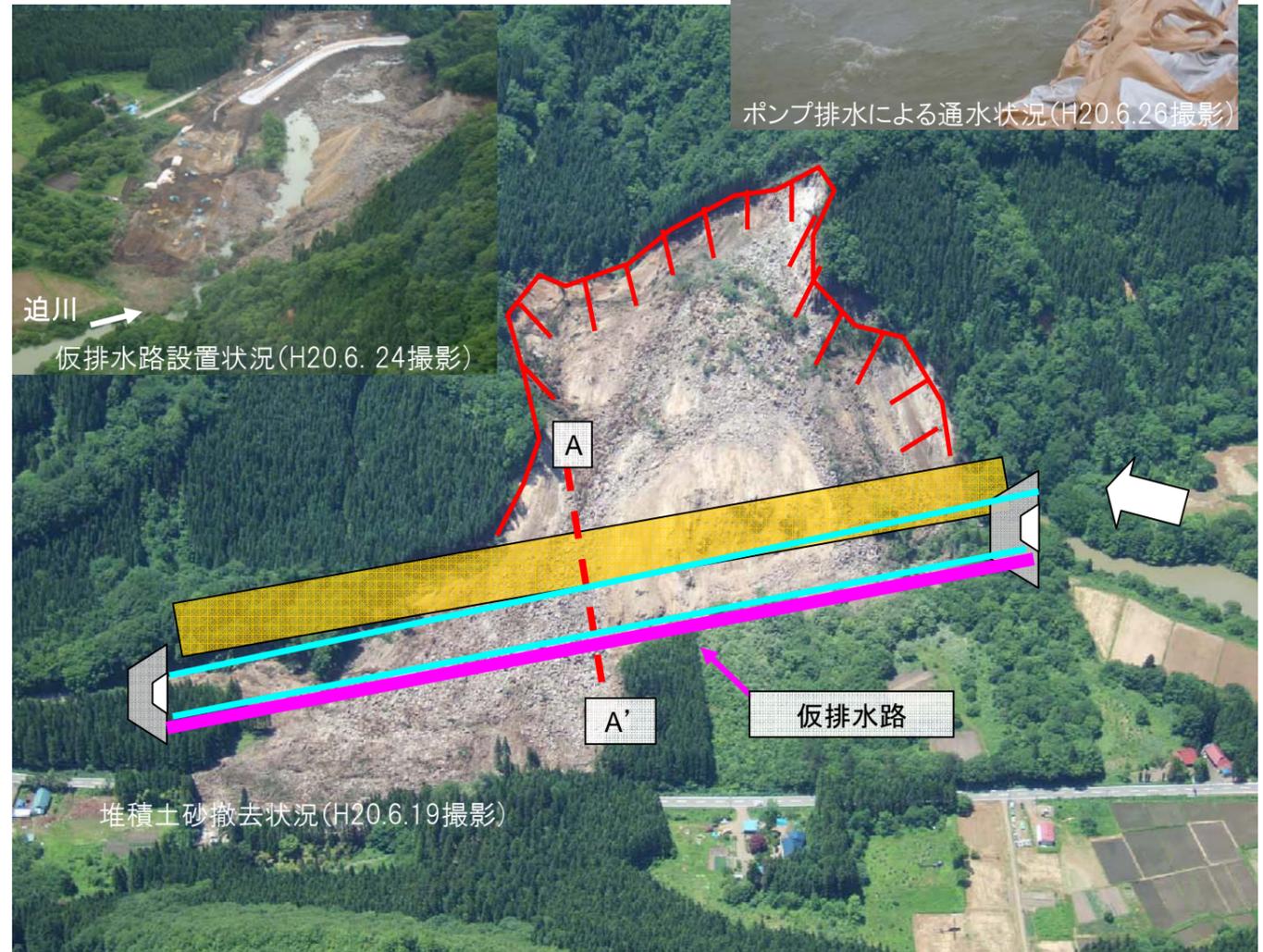
河川名 : 北上川水系 迫川

地先名 : 宮城県栗原市小川原地先

作業状況:仮排水路L=475m 通水(27日)



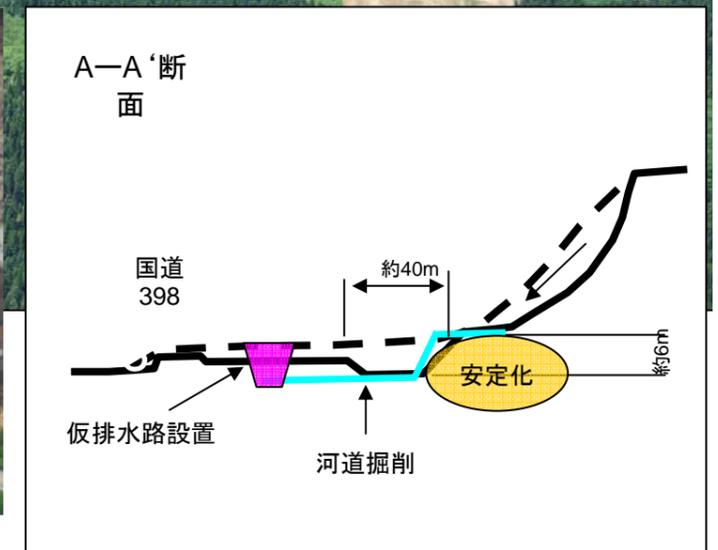
ポンプ排水による通水状況(H20.6.26撮影)



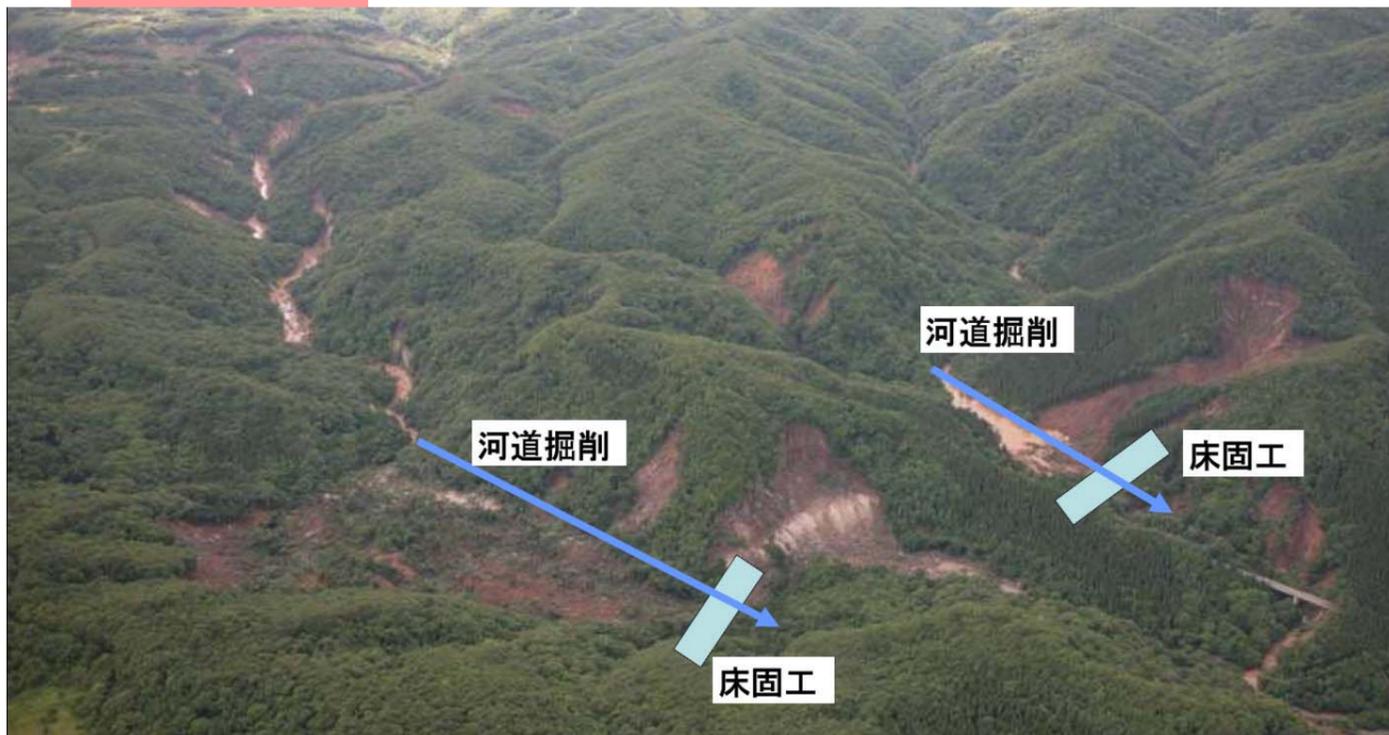
堆積土砂撤去状況(H20.6.19撮影)



仮排水路設置状況(H20.6.24撮影)



## ぬまくら 沼倉地区



地方公共団体との綿密な協力体制のもと、迅速かつ円滑な災害対策支援の実施に資することを目的に、県等の災害対策本部等に派遣したものである。  
(※「リエゾン(Liaison)」とは、「つなぐ」という意味のフランス語。)



宮城県災害対策本部での活動状況



岩手県災害対策本部での活動状況

リエゾン派遣先
岩手県庁
宮城県庁
一関市役所
奥州市役所
栗原市役所
花山の現場

## 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)『土砂災害対策緊急支援チーム』 現地本部(岩手河川国道事務所一関出張所)の状況

岩手県、宮城県内各地でがけ崩れ等の土砂災害が発生し被害が生じており、今後も梅雨期の降雨等により新たにながけ崩れ等の土砂災害発生危険性が高いことから、早急に人命等に影響を及ぼすおそれのある土砂災害危険箇所等を点検し、2次災害防止に役立てることを目的に実施したものである。

## うぶすめかわ 産女川地区

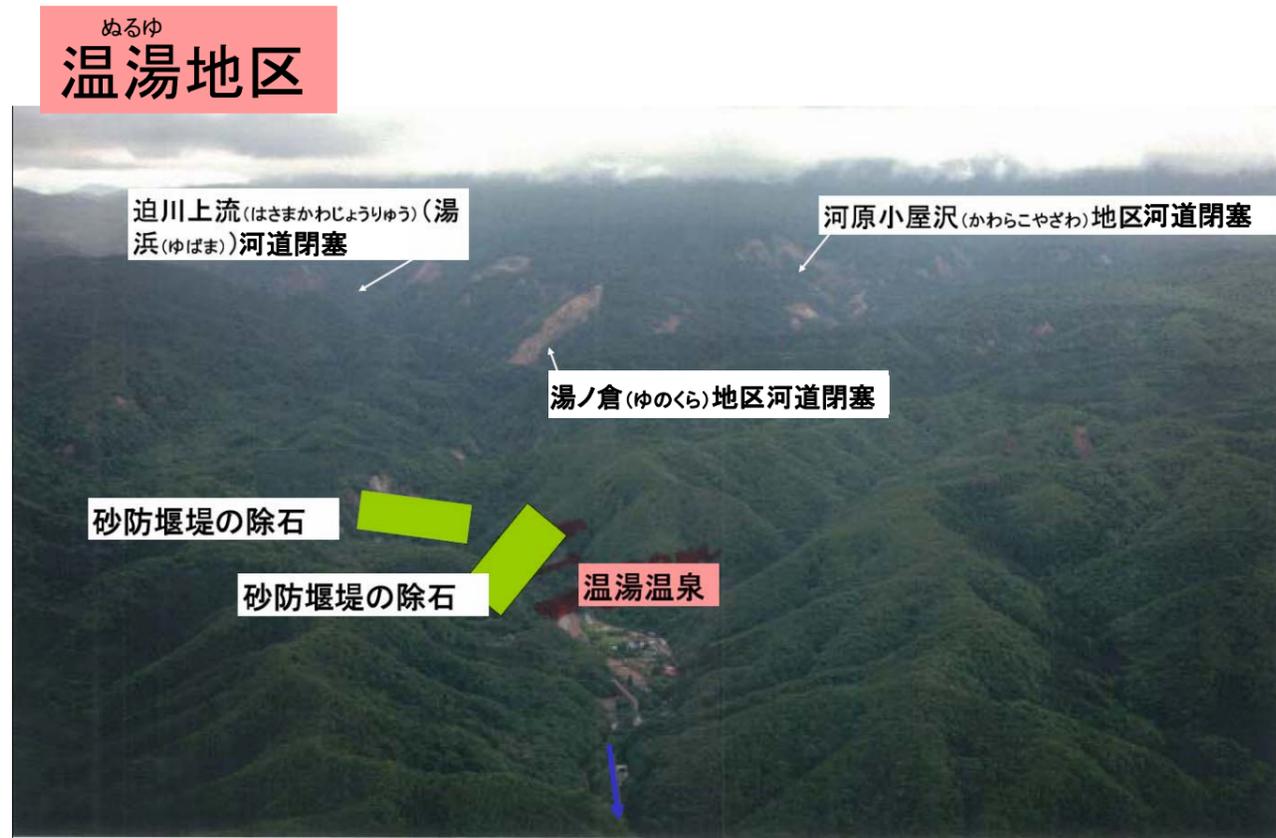


# 道路被災状況(通行規制)一覧

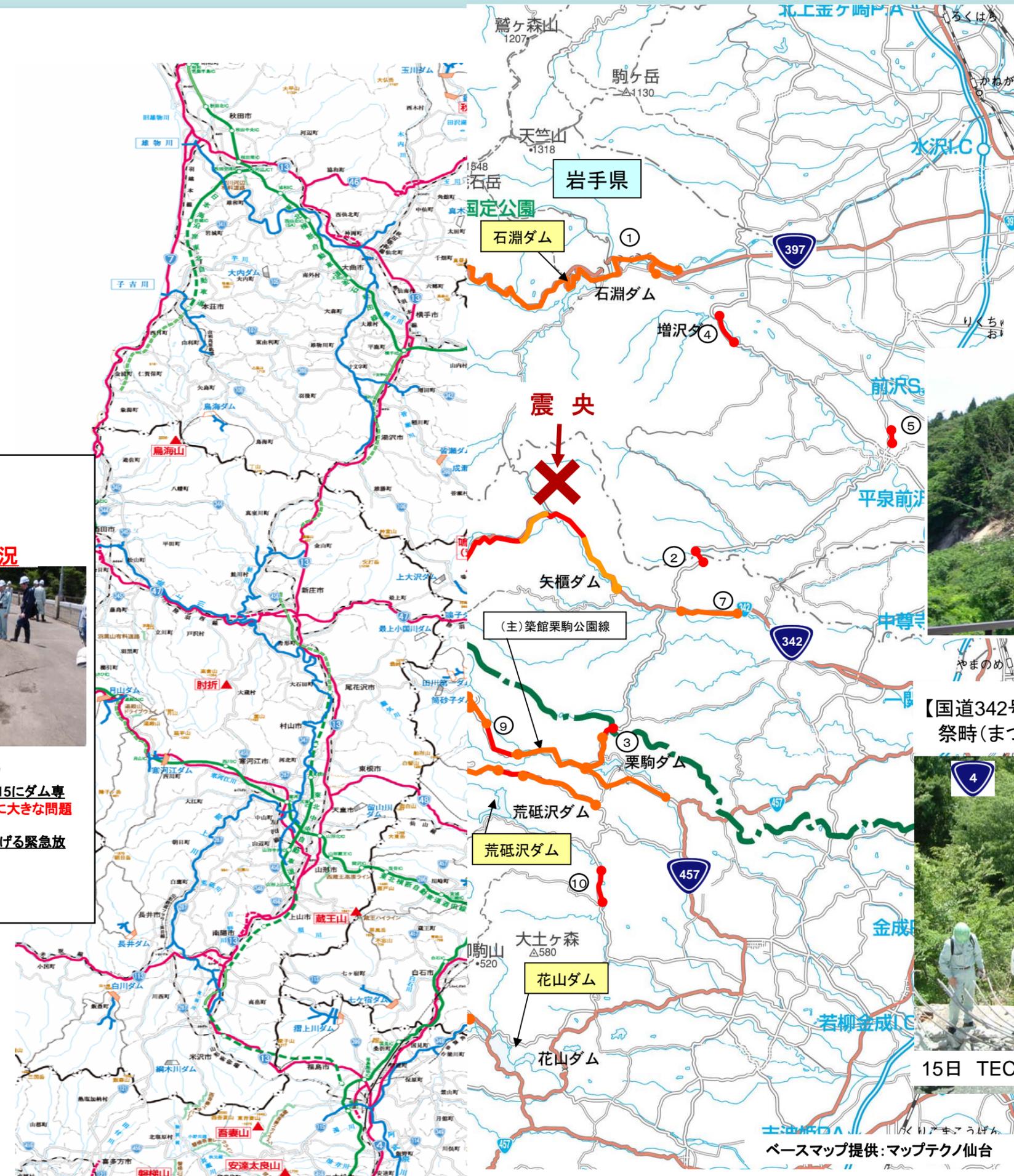
平成20年7月1日10時00分現在

# の実施箇所

図面番号	県名	路線名	規制区間	規制理由	備考
①	岩手・秋田	国道397号	岩手県奥州市胆沢区若柳字市野々 ～秋田県東成瀬村岩井川	法面崩壊・路面亀裂	緊急車両のみ通行可(秋田県側からは、一部区間において日中(9～17時)のみ、一般車両も通行可能)
②	岩手	(主) 栗駒衣川線	奥州市衣川区 餅転橋	橋梁路面損傷	
③	宮城	(主) 栗駒衣川線	栗原市栗駒沼倉玉山～岩手県境	土砂崩落	一部、緊急車両のみ通行可
④	岩手	(主) 花巻衣川線	奥州市衣川区大平	法面崩壊	
⑤	岩手	(一) 衣川水沢線	奥州市胆沢区大袋	路面陥没	
⑥	秋田・岩手	国道342号	秋田県東成瀬村檜山台 ～岩手県一関市殿美町(矢びつダム付近)	土砂崩落・落橋・路面段差	一部、緊急車両通行可 秋田県東成瀬村檜山台から須川温泉間は、夜間(17～9時)全面通行止め
⑦	岩手	国道342号	一関市殿美町天王	土砂崩落	緊急車両のみ通行可
⑧	宮城・秋田	国道398号	宮城県栗原市花山 ～秋田県湯沢市皆瀬大湯	法面崩壊・路面崩壊	湯浜温泉は秋田県側から緊急車両のみ通行可能 栗原市金沢・中村・浅布地区は、緊急車両のみ通行可(一時帰宅も可能) 秋田県湯沢市皆瀬大湯から(一)仁郷大湯線との交差点間は、夜間(17～9時)全面通行止め
⑨	宮城	(主) 築館栗駒公園線	栗原市栗駒沼倉玉山 ～栗原市栗駒岩鏡平	大規模崩落	耕英地区は、並行する市道で一部緊急車両及び徒歩で通行可
⑩	宮城	(一) 文字上尾松線	栗原市栗駒文字	土砂崩落	
⑪	宮城	(一) 沼倉鳴子線	大崎市鳴子温泉鬼首	路面段差	緊急車両のみ通行可
⑫	宮城	(一) 岩入一迫線	栗原市花山草木沢 ～大崎市境	路面段差・落石	緊急車両のみ通行可
⑬	秋田	(主) 湯沢栗駒公園線	湯沢市高松(黒滝橋付近)	法面崩壊	
—	秋田	(一) 仁郷大湯線	東成瀬村椿川 ～湯沢市皆瀬小安奥山	落石	夜間(17～9時)全面通行止め
⑭	秋田	(主) 横手東成瀬線	横手市山内三又～東成瀬村岩井川	路肩亀裂	
⑮	岩手	(主) 盛岡横手線	雫石町南畑 ～西和賀町沢内川舟	土砂崩落	



# 被災箇所 道路被害(通行規制)状況図 (7月1日 10時00分現在)



凡 例	
全面通行止め区間	
緊急車両のみ通行可能区間	

いちのせきしげんびちょう  
 国道342号 岩手県一関市巖美町内  
 【矢びつダム付近の土砂崩落】  
 15日崩落土砂撤去作業開始



【国道342号 岩手県一ノ関市巖美町内  
 祭時(まつるべ)大橋の落橋】



15日 TEC-FORCEによる調査状況

**2 石淵ダム** [S28完成、ロックフィルダム]  
 (岩手県奥州市胆沢区若柳)

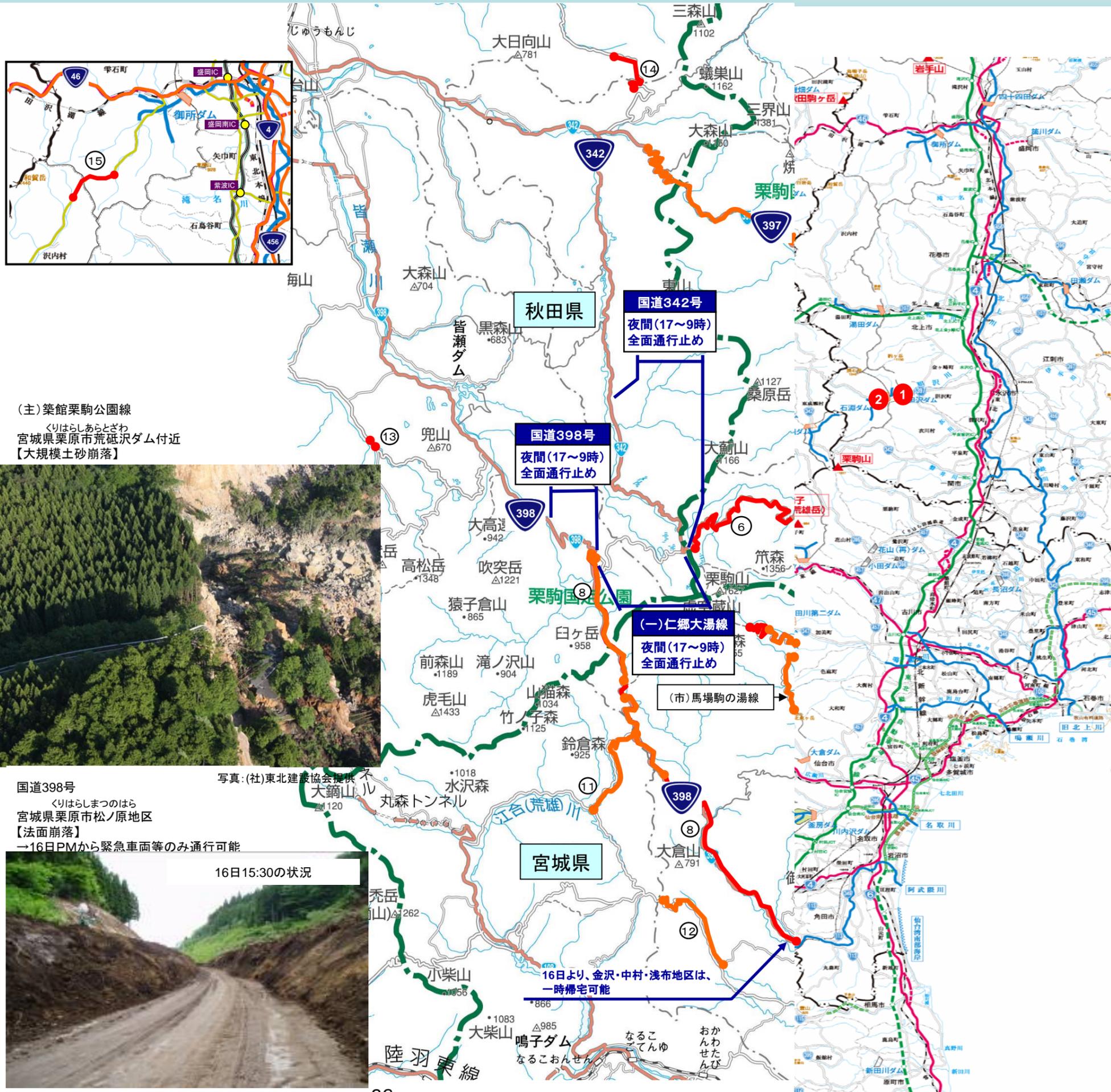
**ダム堤体天端にクラック**      **調査状況**

**ダム専門家による調査を実施**

- 石淵ダム(管理)において、**ダム堤体 天端にクラック**を確認(6/15にダム専門家による調査を実施し対策を検討)・・・専門家からコメント:**安全に大きな問題なし。ただし、観測を継続し詳細調査を実施すること。**
- ダム堤体の安全性を確認のため、14日14:30より貯水位を下げる緊急放流実施。(15日16:50に緊急放流終了)

ベースマップ提供: マップテクノ仙台

# 平成20年 岩手・宮城内陸地震による (直轄ダム)



国道398号  
 くりはらしまつのはら  
 宮城県栗原市松ノ原地区  
 【法面崩落】  
 →16日PMから緊急車両等のみ通行可能



16日15:30の状況

## 胆沢ダム [H25完成予定、ロックフィルダム] (岩手県奥州市胆沢区若柳)



14日10:00

胆沢ダム建設現場  
法面崩壊により土砂堆積

呑口閉塞

胆沢川



14日16:45

土砂除去完了

胆沢川

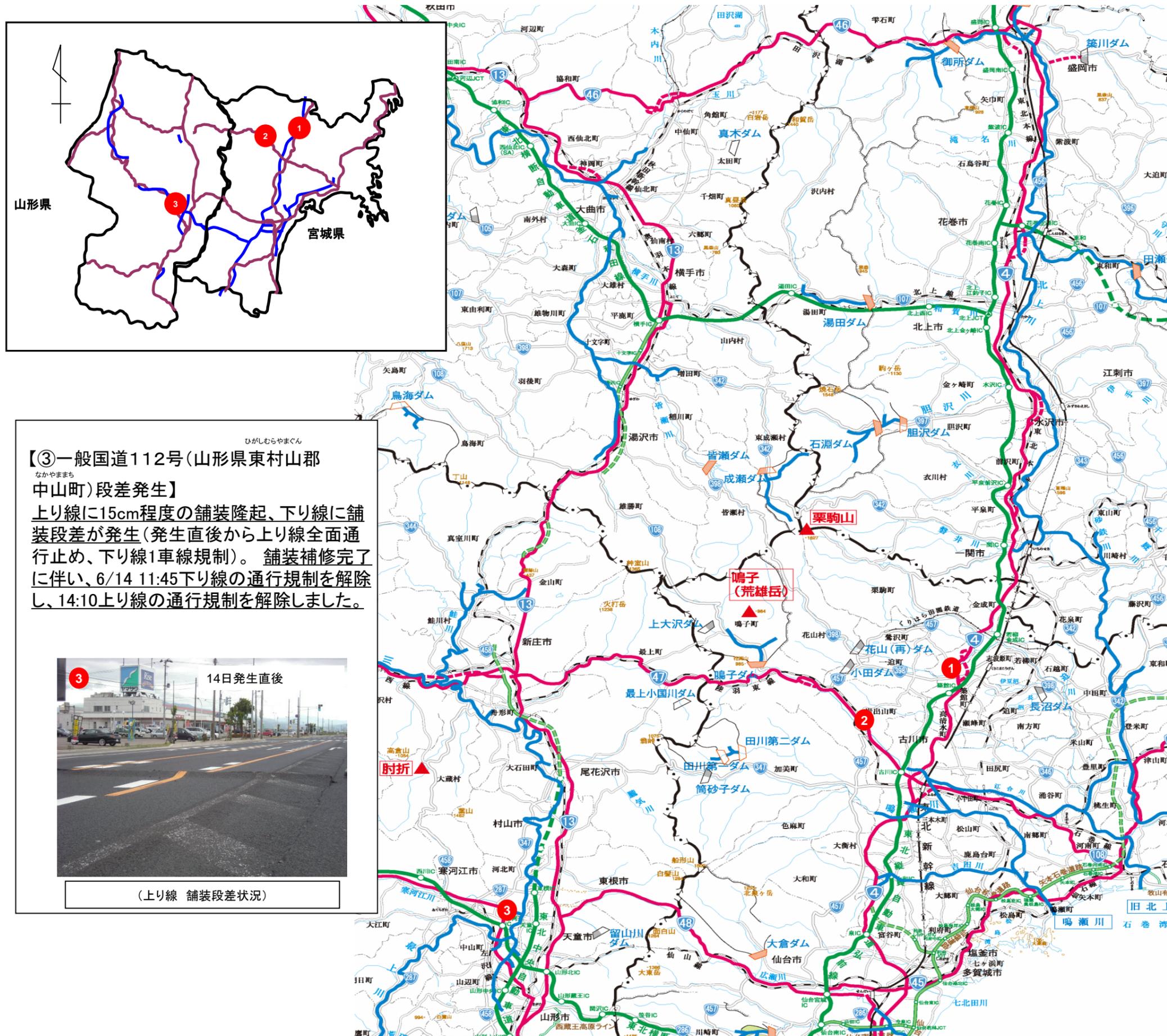
- 仮排水トンネル呑口が土砂崩落により閉塞。(速やかに土砂を除去完了)
- 胆沢ダム(建設)において、作業員頭部に落石があたり死亡。

## 一般国道397号通行止め



■ 土砂崩れにより通行止め

# 被災箇所(直轄 道路) 6/14通行規制解除



【①一般国道4号(宮城県栗原市築館地内)新荒瀬橋に段差発生】  
 5~7cmの段差が発生。6/14 13:10より段差すりつけ作業(片側交互通行)を開始し、16:47に作業完了に伴い通行規制を解除しました。



(A1側: 段差発生状況)

【③一般国道112号(山形県東村山郡中山町)段差発生】  
 上り線に15cm程度の舗装隆起、下り線に舗装段差が発生(発生直後から上り線全面通行止め、下り線1車線規制)。舗装補修完了に伴い、6/14 11:45下り線の通行規制を解除し、14:10上り線の通行規制を解除しました。



(上り線 舗装段差状況)

【②一般国道47号(宮城県大崎市岩出山地内)岩出山こ線橋に段差発生】  
 7~8cmの段差発生により片側交互通行を実施。6/14 12:50より段差すりつけ作業(片側交互通行)を開始し、17:49に作業完了に伴い通行規制を解除しました。



(A2側: 下り線 段差発生状況)